

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-221941

(43)公開日 平成9年(1997)8月26日

(51)Int.Cl.⁵

E 0 4 H 15/32

識別記号

庁内整理番号

F I

E 0 4 H 15/32

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平8-31769

(22)出願日 平成8年(1996)2月20日

(71)出願人 000138521

株式会社ユタカ技研

静岡県浜松市豊町508番地の1

(72)発明者 田 中 実

静岡県浜松市豊町 508 番地の1 株式
会社ユタカ技研内

(72)発明者 青 枝 一 久

静岡県浜松市豊町 508 番地の1 株式
会社ユタカ技研内

(72)発明者 高 林 昌 俊

静岡県浜松市豊町 508 番地の1 株式
会社ユタカ技研内

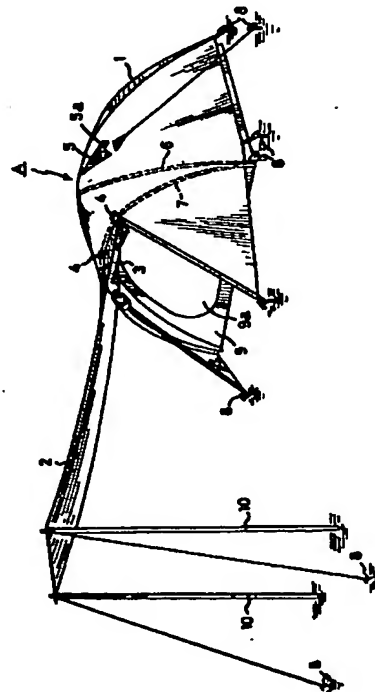
(74)代理人 弁理士 中川 周吉 (外1名)

(54)【発明の名称】 フライシート

(57)【要約】

【課題】 オートキャンプ等に於いて頻繁にテントとタープが共に使用されることから、以前から簡易タープ機能付きテントが市場に供給されていた。しかし、フライシートの一部分をタープとして使用した場合は降雨時や夜間などに撤収しなければならなかったり、別部材のタープをテントに接続した場合は設営、撤収が煩雑だった。

【解決手段】 本発明に係るフライシートは、少なくとも1面が2枚以上のシートからなり、前記2枚以上のシートのうち内側に位置するシートは閉鎖することによって前記フライシートのドアを形成すると共に、外側に位置するシートを前記内側に位置するシートと等しいか又はより長い長さに形成したことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 キャンプ用のテントに於いてキャノピーの外側に配置されるフライシートであって、少なくとも1面が2枚以上のシートからなり、該2枚以上のシートのうち内側に位置するシートは前記フライシートに接続されて該フライシートのドアを形成すると共に、外側に配置したシートの少なくとも1枚はタープを形成するように構成したことを特徴とするフライシート。

【請求項2】 前記フライシートと前記タープの接続部分近傍に一つ乃至複数のグロメット穴を設けたことを特徴とする請求項1に記載のフライシート。

【請求項3】 キャンプ用のテントに於いてキャノピーの外側に配置されるフライシートであって、該フライシートの壁面に設けられた通気孔と、該通気孔の外側に取り付けられたカバーとを有し、該カバーの開放部端部に沿って弾性部材を取り付けたことを特徴とするフライシート。

【請求項4】 前記フライシート壁面と前記カバーの端部の互いに対向する面に於いて、一乃至複数箇所の所定の位置に対となる係止部材を設けたことを特徴とする請求項3に記載のフライシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は主としてオートキャンプ等に使用されるテントにおいて防水などを目的として使用されるフライシートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】キャンプ等に於いてフレームにシート等を張って構成されるテントは、多くの場合キャノピー又はインナーテントと呼ばれるシートの外側にフライシートと呼ばれる防水用シートを配置して、二重構造として構成される。

【0003】またシートを略水平に張って屋根となし、日除けや軽い雨避けとして居住空間を提供するタープと呼ばれるものがある。このタープは通常テントに近接して設営されるため、従来もテントと何らかの関係を有する構成となっているものがあつた。

【0004】例えば、テントの出入口に於けるフライシートの開閉部分をシート状に形成して上辺にて本体と接続し、閉鎖時にはフライシートのドアとしての機能を持つと共に、開放時にはポール等を使用して張ることにより簡易タープとしての機能をも有するよう構成されたものが一般に提供されている。また、単独のタープであって一端を独立したポールなどに取り付けると共に他端のポールををテントと共有するよう構成し、設営されたときに前記簡易タープ機能付きテントと同様にテントに近接した居住空間を提供するものが公知である。

【0005】また、フライシートは防水を目的とすることから通気性が悪く、開閉部分や壁面に網目部分を設けて通気手段を設けるのが通常である。この通気手段は降

雨による浸水やテント内部を不可視にする目的からカバーが設けられている。

【0006】従来の通気孔カバーは、円状の通気孔に筒状の布製の通気孔カバーを連結させてその開口端に通された紐によって開口部を絞るよう構成されたものや、また方形の通気孔にシート状の通気孔カバーを取り付け、巻き上げたり広げたりすることによって開閉するよう構成されたものなどがあつた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記した簡易タープ機能付きテントに於いては、タープがあくまでもフライシートのドアであるために、夜間や降雨時にはフライシート本来のキャノピーを覆うという機能を果たす必要がある。従ってそれらの際にはタープの設営を回収する必要があるが、また前室の居住道具を覆うことはできない。また別体のタープを使用した場合には夜間や降雨時には回収する必要があるが、別体であることから必要のないときにはテント本体と別に取り扱わねばならず、キャノピー、フライシート、タープと3つのパーツをそれぞれ設営、撤収する必要がある。

【0008】また通気手段のカバーに於いては、浸水を防ぎながら通気性を確保できるよう構成することが望まれる。そのためにはカバーが軒のような形状をしていることが必要となる。前述の従来例に於ける筒状の通気孔カバーは比較的剛性を有する帆布等により形成されていたために立体的構造を取り得たが、近年のフライシートは軽量で防水性に優れた化繊のシートが使用されるために可撓性が強く、立体的構造を取り難い。上述のシート状の通気孔カバーにおいては浸水を防ぐために閉鎖すると通気性をも失っていた。

【0009】

【課題を解決するための手段】そこで上記課題を解決するための本発明に係るフライシートの代表的な構成は、キャンプ用のテントに於いてキャノピーの外側に配置されるフライシートであって、少なくとも1面が2枚以上のシートからなり、該2枚以上のシートのうち内側に位置するシートは前記フライシートに接続されて該フライシートのドアを形成すると共に、外側に配置したシートの少なくとも1枚は張ることによりタープを形成することを特徴とする。

【0010】また、上記フライシートと前記タープの接続部分近傍に一つ乃至複数のグロメット穴を設けることが望ましい。

【0011】上記の如く構成したことによりキャノピーへの取り付け設営の容易さを確保し、また結露や降雨に対してのフライ本来の機能を確保しつつ、同時にリビングとしての前室部の居住空間および夜間の結露からその居住道具を覆うことが可能である。

【0012】また、本発明に係る他のフライシートは、キャンプ用のテントに於いてキャノピーの外側に配置さ

れるフライシートであって、該フライシートの壁面に設けられた通気孔と、該通気孔の外側に取り付けられたカバーとを有し、該カバーの開放部端部に沿って弾性部材を取り付けたことを特徴とする。

【0013】また、前記フライシート壁面と前記カバーの端部の互いに対向する面に於いて、一乃至複数箇所の所定の位置に対となる係止部材を設けることが望ましい。

【0014】

【発明の実施の形態】図1に示すのは本発明に係るフライシートを用いたテントの実施例であり、図2に示すのはフライシートの壁面に設けられた通気孔カバー、図3に示すのは通気孔カバーの開口部を係止した図である。

【0015】図1に示すように、本実施例に示すテントAはいわゆるドーム型テントであり、内側にキャノピー9、外側にフライシート1を配置して構成されている。キャノピー9の外面の複数箇所にボールを通すための図示しない接続部が設けられ、この接続部に2本のメインポール6及び2本のポール7を接続している。各ポールは湾曲されて端部をベグ8に係止され、立体的構造を形成してテントの骨組みを成している。

【0016】フライシート1はキャノピー9と同様ドーム型に形成され、キャノピー9に覆い被せると共にその端部を数カ所ベグ8に接続することでキャノピー9の外側に取り付けられている。

【0017】フライシート1の前面、即ちキャノピー9の出入口9aに対向する面は、タープ2及びドア3の2枚のシートから構成されている。ドア3は一枚のシートから構成され、その上辺に於いてフライシート1に接続されている。ドア3の左右両辺はファスナーによってフライシート1本体と着脱可能になっており、巻き上げて輪止めやゴムバンド等によって保持することにより前面を開放せしめることが可能である。本実施例においてはアウトドアでの任意の使用に対応するために、輪止めとゴムバンドの両機能が加工されている。

【0018】タープ2はドア3の外側に配置されたシートであり、ドア3と同様に上辺に於いてフライシート1に縫製により接続されている。タープ2の幅はドア3と略等しく、長さはドア3に比して長く形成されており、下辺をテントAの前方に延長してポール10に取り付けてひさしを構成する。このときタープ2は降雨時に水滴がたまらないように傾斜を付けることが望ましく、ポール10の高さはタープ2とフライシート1の接続部よりも高く設定されている。

【0019】またタープ2はドア3と同様、不使用時に輪止めやゴムバンドなどにより保持して収容することが可能であり、収容した際にはフライシート1は従来の一般的なフライシートと同様に取り扱うことができる。

【0020】フライシート1とタープ2の接続された境界付近に数個のグロメット穴4が設けられている。この

グロメット穴4により、強風時には風を逃がしてフライシートがおおられるのを減少させることができ、また必要によりグロメット穴4にポールを立ててフライシートを補強することも可能である。なお、このグロメット穴4は図示しない蓋を有しており、降雨時にはこの蓋により塞いで浸水を防ぐよう構成されている。

【0021】図2に示すようにフライシート1の壁面には通気孔5cが設けられており、これを覆うように通気孔カバー5aが取り付けられている。通気孔5cはフライシート1の壁面に設けられた開口部に網状部材を取り付けたものであり、テント内部の換気を行う事を目的としている。また、通気孔カバー5の形状は下方に開口部を有する三角錐を成しており、降雨時にも通気孔5cに雨が入り込まないように構成されている。

【0022】通気孔カバー5の開口部の端辺には弾性部材5aが取り付けられている。弾性部材5aはスポンジにより形成されたものであり、適度な弾性と共に可撓性を有している。従って、通気孔カバー5が可撓性の強い化繊のシートであるにも関わらず、その立体的形状を維持させることができる。

【0023】また通気孔カバー5内面の端辺近傍とフライシート1外面の互いに対向する位置に、ベルベットファスナーからなる係止部材5bが設けられている。従って図3に示すように、この係止部材5bを貼着させることにより通気孔カバー5の開口部の開口面積を減少させることができる。これにより降雨時や夜間などに、密閉することなく、湿度の高い外気や夜気等がテント内へ流入する量を減少させることができる。

【0024】上記実施例に於いてタープ2は縫製にてフライシート1に接続して示したが、縫製以外の保持方法、例えばファスナー、フック、マジックテープなどを用いることでもよい。またタープ2の幅をドア3と略等しい幅にて形成して示したが、より広く形成して機能を強化したり、狭く形成して簡易化することでも良い。また、タープ形状を長方形に形成しているが、例えば先端に向かって幅の広くなる又は狭くなる台形、極端な場合は三角形に形成しても良い。また図1に於いてグロメット穴をフライシート側に設けて示したが、タープとフライシートの境界付近にあれば良く、タープ上に設けても良い。

【0025】また通気孔カバーの開口部端部に設けた弾性部材は、スポンジ以外にもゴムやワイヤーなど、形状復元能力のあるものであれば良い。また、通気孔カバーの係止部材としてフックやホックなどを用いることでも良く、また通気孔カバーの大きさに従って2カ所以上に係止部材を設けても良い。

【0026】また、タープのフライシートと反対側の辺をポールにて支持して示したが、ポール以外にも乗用車や立木に取り付けたり、またベグにて地面に固定することでもよい。

【0027】

【発明の効果】上記の如く本発明に係るフライシートは、タープを一体に取り付けて構成したことにより設営及び撤収の容易性を確保することができる。また降雨時や夜間に際しては、ドアを閉鎖しつつ前室部の居住空間を覆うことができ、フライ本来の機能を確保すると同時に該居住空間に載置された居住道具を降雨や夜間の結露から庇護することができる。

【0028】また上記の如く通気孔カバーを構成したことにより、通気孔カバーに容易に立体的構造を持たせることができ、且つ夜間や降雨時にあってはその開口面積を適宜縮小させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るフライシートを用いたテントの実施例である。

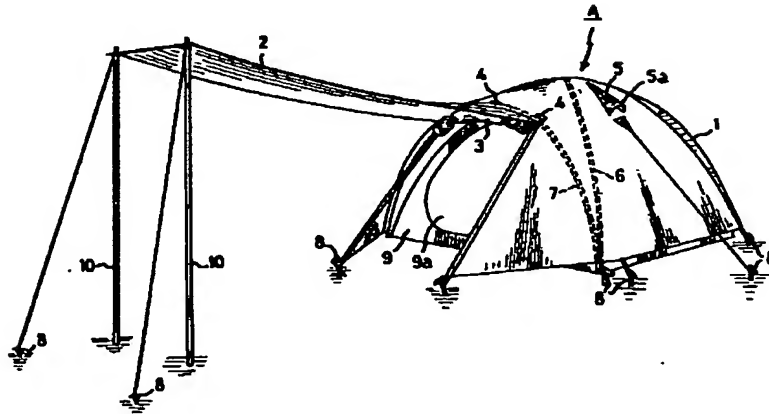
【図2】フライシートの壁面に設けられた通気孔カバーである。

【図3】通気孔カバーの開口部を係止した図である。

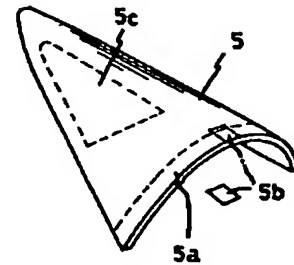
【符号の説明】

- A…テント
- 1…フライシート
- 2…タープ
- 3…ドア
- 4…グロメット穴
- 5…通気孔カバー
- 5a…弾性部材
- 5b…係止部材
- 5c…通気孔
- 6…ポール
- 7…メインポール
- 8…ペグ
- 9…キャノピー
- 10…ポール

【図1】



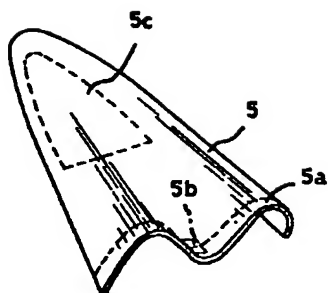
【図2】



(5)

特開平9-221941

【図3】



PAT-NO: JP409221941A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09221941 A
TITLE: FLY SHEET
PUBN-DATE: August 26, 1997

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TANAKA, MINORU
AOEDA, KAZUHISA
TAKABAYASHI, MASATOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
YUTAKA GIKEN CO LTD N/A

APPL-NO: JP08031769
APPL-DATE: February 20, 1996

INT-CL (IPC): E04H015/32

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make the setting and removal of a tent easier by constituting one surface of a fly sheet to be arranged outside a canopy of the tent for camping with two or more sheets, and by forming a door for an inner sheet and a tarp for an outer sheet.

SOLUTION: This fly sheet 1 is formed to a dome shape and covers a canopy 9, end portion is connected to pegs at several points, a surface facing the entrance 9a of the canopy 9 is constituted with a tarp 2 and two sheets of the door 3. Door 3 is constituted with one sheet and is connected with the fly sheet 1 at the upper side, both the right and left sides are detachable from the fly sheet 1 by using a fastener. The tarp 2 is a sheet arranged outside of the door 3 and is sewed and connected with the fly sheet 1 at the

upper

side, its width is almost equal to the door 3, its length is made longer than the door 3, and the lower side is extended forward of the **tent** A and attached to a pole 10. A vent hole 5c is provided on a wall surface of the fly sheet 1, a cover 5 covering the vent hole is attached and **ventilation** is performed for the inside of the **tent** A.

COPYRIGHT: (C) 1997, JPO